

2016年 呼吸器・アレルギー・膠原病内科医局業績

①- 1 学術論文 (英文)

a) 原著

1. Nakamura Y, Suzuki R, Mizuno T, Abe K, Chiba S, Horii Y, Tsuboi J, Ito S, Obara W, Tanita T, Kanno H, Yamauchi K. Therapeutic implication of genetic variants of IL13 and STAT4 in airway remodelling with bronchial asthma. *Clinical Experimental Allergy*. 46(9) : 1152-1161 (2016).
2. Yamashita M, Shibanaï M, Sekimura K, Nitanaï H, Ogasawara M, Kobayashi H, Yamauchi K. Fractional exhaled nitric oxide levels as a predictor of long-term prognoses in patients with mild asthma. *Respiratory Investigation*. 54(3) : 139- 147 (2016).
3. Yamashita M, Niisato M, Hanasaka T, Iwama N, Takahashi T, Sugai T, Yamauchi K. Development of Lymphatic Capillary Network Along the Alveolar Walls of Autopsied Human Lungs with Pneumonia. *Lymphatic Research and Biology*. 14(4) : 210-219 (2016).
4. Saito H, Yamashita M, Ogasawara M, Yamada N, Niisato M, Tomoyasu M, Deguchi H, Tanita T, Ishida K, Sugai T, Yamauchi K. Chaperone protein L-isoaspartate (D-aspartyl) O-methyltransferase as a novel predictor of poor prognosis in lung adenocarcinoma. *Human Pathology*. 50 : 1-10 (2016).
5. Suzuki R, Nakamura Y, Chiba S, Mizuno T, Abe K, Horii Y, Nagashima H, Tanita T, Yamauchi K. Mitigation of tight junction protein dysfunction in lung microvascular endothelial cells with pitavastatin. *Pulmonary Pharmacology & Therapeutics*. 38 : 27-35 (2016).
6. Oikawa Y, Sasaki N, Niisato M, Nakamura Y, Yamauchi K. A phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor strongly suppressed pulmonary vascular remodeling of allergic vasculitis in a murine model. *Experimental Lung Research*. 42(3) : 111-120 (2016).
7. Ogasawara M, Nakamura Y, Morikawa N, Nitanaï H, Moriguchi S, Chiba R, Saito H, Ohta M, Tanita T, Sugai T, Maeyama K, Yamauchi K, Takaoka Y. Analysis of a single-codon E746 deletion in exon 19 of the epidermal growth factor receptor. *Cancer Chemotherapy and Pharmacology*. 77(5) : 1019-1029 (2016).
8. Ogasawara M, Otani M, Takano M, Shudou M, Inaba Y, Nirasawa S, Takahashi S, Kiyoi T, Tanaka Y, Kameda K, Kunugita N, Maeyama K, Sano K, Yamashita M, Yamauchi K. The protective role of protein L-isoaspartyl

- (D-aspartate) O-methyltransferase for maintenance of mitochondrial morphology in A549 cell. *Experimental Lung Research*. 42(5) : 245-262 (2016).
9. Suzuki S, Ogawa M, Ohta S, Arima K, Nunomura S, Nanri Y, Mitamura Y, Yoshihara T, Nakamura Y, Yamauchi K, Chibana K, Ishii Y, Lee JJ, Aratani Y, Kakuta S, Kubo S, Iwakura Y, Yoshida H, Izuhara K. The potential for repositioning antithyroid agents as antiasthma drugs. *Journal of Allergy and Clinical Immunology*. 138(5) : 1458-1461 (2016).
 10. Sato J, Morikawa N, Nitana H, Nagashima H, Nihei S, Yamauchi K, Kudo K. Feasibility study of short hydration using oral rehydration solution in cisplatin including chemotherapy of lung cancer. *Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences*. 2:6 (2016).

b) 総論

①-2 学術論文 (和文)

a) 原著

b) 総論

1. 山内広平. 成人喘息の診断、重症度の判定. *日本医師会雑誌 生涯教育シリーズ 90 アレルギー疾患のすべて*. 145(1) : S121-S122 (2016)
2. 山内広平. 喘息死. *アレルギー*. 65(10) : 1248-1256 (2016)
3. 山内広平. アレルギー疾患とは. *内科*. 118(6) : 1039-1042 (2016)
4. 山内広平. 難治性喘息のバイオマーカーの役割. *呼吸器内科*. 29(6) : 524-52 (2016)
5. 長島広相, 山内広平. 運動が誘発する息切れの緩和対策. *THE LUNG perspectives*. 24(4) : 53-56 (2016)
6. 長島広相, 山内広平. 喘息とスポーツ. *成人病と生活習慣病*. 46(6) : 749-752 (2016)

c) 症例報告

② 著書

③ 国際学会発表

a) 招聘講演等

b) 一般講演

1. Sasaki N, Kita H, Nakamura Y, Yamauchi K. Spleen tyrosine kinase and calcium play critical roles in the release of IL-33 from airway epithelial cells

exposed to fungus *alternaria alternata*. American Thoracic Society International conference. May 2016. San Francisco.

2. Oikawa Y, Sasaki N, Nakamura Y, Yamauchi K. A phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor (PI3K) strongly suppressed inflammation and pulmonary vascular remodeling in a murine model of allergic vasculitis. American Thoracic Society International conference. May 2016. San Francisco.
3. Yamashita M, Saito R, Ogasawara M, Fukuda Y, Sasano H, Sugai T, Yamauchi K. Distinct profiles of M2 macrophage markers among idiopathic interstitial pneumonias. American Thoracic Society International conference. May 2016. San Francisco.
4. Chiba R, Sato J, Morikawa N, Saito H, Nihei S, Moriguchi S, Nagashima H, Nakamura Y, Yamauchi K. The relationship between plasma afatinib concentration and the severity of adverse events. 21st Congress of Asia Pacific Society of Respiriology. Nov 2016. Bangkok.

④-1 国内学会発表（全国）

a) 招聘講演等

b) 一般講演

1. 鈴木利央登, 中村豊, 長島広相, 内海裕, 千葉真士, 森川直人, 佐々木信人, 山内広平. ピタバスタチンの肺微小血管内皮細胞 **tight junction** に対する作用. 第 56 回日本呼吸器学会学術講演会. 4 月. 京都市.
2. 及川侑芳, 佐々木信人, 松本あみ, 中村 豊, 山内広平. ホスファチジルイノシトール 3 リン酸 (PI3K) 阻害薬 ZSTK474 による肺血管リモデリング抑制効果の検討. 第 56 回日本呼吸器学会学術講演会. 4 月. 京都市.
3. 中村豊, 長島広相, 森川直人, 佐々木信人, 山内広平. 気管支喘息患者の肺機能低下に關与する遺伝子多型の治療反応性について. 第 113 回日本内科学会講演会. 4 月. 東京都.
4. 黒田凌, 中村豊, 千葉真士, 松本あみ, 守口知, 千葉亮祐, 長島広相, 佐々木信人, 山内広平. 肺炎治療の人工呼吸器離脱後に意識障害が顕在化し血栓性血小板減少性紫斑病と診断した一例. 医学生研修医の日本内科学会ことはじめ 2016 東京. 4 月. 東京都.
5. 松本あみ, 佐々木信人, 及川侑芳, 村田興則, 山内広平. 血管ベーチェット病にインフリキシマブが有効であった一例. 第 60 回日本リウマチ学会総会学術講演会. 4 月. 横浜市.
6. 及川侑芳, 佐々木信人, 松本あみ, 村田興則, 古和田浩子, 山内広平. 好酸球性多

発血管炎性肉芽腫症(EGPA)寛解導入療法後に下肢末梢神経障害を発症した1例.
第60回日本リウマチ学会総会学術講演会. 4月. 横浜市.

7. 中村豊. 気管支喘息患者の気道リモデリングの病態と拡大する分子標的薬の適用.
第65回日本アレルギー学会学術大会. 6月. 東京都.
8. 大野勲, 宮坂智充, 中村豊, 宮田敏, 佐藤美希, 高柳元明, 下川宏明, 山内広平.
喘息増悪における μ オピオイド受容体遺伝子多型と臨床病態との相関. 第65回日本アレルギー学会学術大会. 6月. 東京都.
9. 中村豊, 千葉真士, 水野友貴, 阿部和幸, 長島広相, 古和田浩子, 森川直人, 佐々木信人, 山内広平. 低肺機能遺伝子多型喘息患者に対する2年間の高用量吸入ステロイド薬の効果. 第65回日本アレルギー学会学術大会. 6月. 東京都.
10. 佐々木信人, 紀太博仁, 中村豊, 山内広平. 真菌刺激による気道上皮細胞からのIL-33分泌メカニズム. 第65回日本アレルギー学会学術大会. 6月. 東京都.
11. 長島広相, 中村豊, 守口知, 中島義雄, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 千葉真士, 山内広平.
IL13 遺伝子多型気管支喘息患者における気道リモデリングと吸入ステロイド薬の効果. 第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 6月. 名古屋市.
12. 守口知, 中村豊, 長島広相, 千葉亮祐, 千葉真士, 中島義雄, 齋藤平佐, 阿部和幸, 山内広平. 当院におけるEGFR-TKI耐性肺癌に対するRe-biopsyの検討. 第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 6月. 名古屋市.
13. 齋藤平佐, 中村豊, 出口博之, 谷田達男, 山内広平. 全身麻酔下で高周波スネアにより切除した気管支内IgG4関連炎症性偽腫瘍の1例. 第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 6月. 名古屋市.
14. 中村豊. 津波肺患者にみられたスケドスポリウム症. 第60回日本真菌学会総会・学術集会. 10月. 東京都.
15. 島田大嗣. 当初関節のリウマチと診断されMTX治療中に発生した薬剤性肺炎を契機にサルコイドーシス(レフグレン症候群)と診断された一例. 第36回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会. 10月. 東京都.
16. 千葉真士. 気管支喘息患者におけるGLCCI1遺伝子多型の役割. アレルギー・好酸球研究会2016. 10月. 東京都.
17. 中村豊. IL13 遺伝子多型喘息患者5年間の気道リモデリングの検討. アレルギー・好酸球研究会2016. 10月. 東京都.
18. 守口知, 中村豊, 千葉真士, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 森川直人, 山内広平. 当院における免疫チェックポイント阻害剤Nivolumab使用症例の検討. 第57回日本肺癌学会学術集会. 12月. 福岡市.
19. 千葉亮祐, 佐藤淳也, 森川直人, 齋藤平佐, 二瓶哲, 守口知, 長島広相, 中村豊, 山内広平. Afatinib血中濃度と副作用に対する影響. 第57回日本肺癌学会学術集会. 12月. 福岡市.

c) その他

1. 千葉亮祐. 岩手医科大学における肺癌の臨床研究について. 平成 28 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プランーICT と人で繋ぐがん医療維新プランー 肺癌国際シンポジウム 地域から首都圏、そしてアジアまで 俯瞰する肺がん研究. 10 月. 盛岡市.
2. 森川直人. RET 遺伝子陽性肺癌における薬剤耐性の克服. 平成 28 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プランーICT と人で繋ぐがん医療維新プランー 肺癌国際シンポジウム 地域から首都圏、そしてアジアまで 俯瞰する肺がん研究. 10 月. 盛岡市.

④-2 国内学会発表 (地方関係)

a) 招聘講演等

b) 一般講演

1. 阿部和幸, 齋藤平佐, 内海裕, 工藤温子, 岩田徳男, 佐々木信人, 中村豊, 山内広平, 坂本拓矢, 千葉大. 抗 Melanoma differentiation-associated gene5 (MDA5 抗体) 陽性皮膚筋炎の 1 例. 第 208 回日本内科学会東北地方会. 7 月. 仙台市.
2. 長島広相, 中村豊, 水野友貴, 千葉真士, 阿部和幸, 松本あみ, 鈴木利央登, 及川侑芳, 守口知, 中島義雄, 千葉亮祐, 秋山真親, 齋藤平佐, 森川直人, 佐々木信人, 山内広平. 喘息患者に対する当科の気管支サーモプラスティ治療経験. 第 42 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会. 7 月. 仙台市.
3. 長島広相, 中村豊, 水野友貴, 千葉真士, 阿部和幸, 松本あみ, 鈴木利央登, 及川侑芳, 守口知, 中島義雄, 千葉亮祐, 秋山真親, 齋藤平佐, 森川直人, 佐々木信人, 山内広平. 喘息患者に対する当科の気管支サーモプラスティ治療経験. 第 55 回日本肺癌学会東北支部会. 7 月. 仙台市.
4. 守口知, 中村豊, 千葉真士, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 長島広相, 森川直人, 山内広平. 当院における切除不能進行・再発非小細胞肺癌に対する Nivolumab の使用症例に対する検討. 第 55 回日本肺癌学会東北支部会. 7 月. 仙台市.
5. 守口知, 中村豊, 千葉真士, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 長島広相, 森川直人, 山内広平. Alectinib 投与後に Grade 3 の皮疹を認め, 減感作後に再投与し得た ALK 陽性肺癌の 1 例. 第 55 回日本肺癌学会東北支部会. 7 月. 仙台市.
6. 及川侑芳, 佐々木信人, 松本あみ, 古和田浩子, 中村豊, 山内広平. 清掃腫瘍とブドウ膜炎で再発を認めた好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の 1 例. 第 209 回日本内科学会東北地方会. 9 月. 山形市.
7. 千葉真士. 抗 TNF- α モノクロナール抗体投与中にレジオネラ肺炎を発症した 1 例.

第 210 回日本内科学会東北地方会. 2 月. 仙台市.

8. 島田大嗣, 松本あみ, 及川侑芳, 守口知, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 長島広相, 中村豊, 山内広平. 放射線肺炎治療中に肺結核を発症した 1 例. 第 210 回日本内科学会東北地方会. 2 月. 仙台市.
9. 長島広相, 中村豊, 島田大嗣, 千葉真士, 守口知, 友安信, 出口博之, 田坂登司博, 山内広平. リファンピシン(RFP)、リファブチン(RBT)内服で発熱をきたし RBT 減感作療法を行い治療が継続できた非結核性抗酸菌症の一例. 第 104 回日本呼吸器学会東北地方会. 3 月. 仙台市.
10. 島田大嗣, 中村豊, 松本あみ, 及川侑芳, 守口知, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 長島広相, 山内広平. ハト血清により診断に至った鶏肉加工従事者の過敏性肺炎の 1 例. 第 104 回日本呼吸器学会東北地方会. 3 月. 仙台市.
11. 平野邦夫, 中村豊, 島田大嗣, 松本あみ, 及川侑芳, 守口知, 千葉亮祐, 齋藤平佐, 長島広相, 山内広平. Exon19 欠失と Exon20 挿入の重複変異に対して Erlotinib と Bevacizumab の併用療法が奏功した 1 例. 第 104 回日本呼吸器学会東北地方会. 3 月. 仙台市.

c) その他

1. 守口知. 当院における Re-biopsy の検討. Lung Cancer Workshop in Morioka. 4 月. 盛岡市.
2. 山内広平. COPD 増悪抑制のための治療戦略と今後の展望. Scientific Exchange Meeting ~COPD の Total management~. 5 月. 大阪市.
3. 山内広平. 喘息と COPD. 県北地区呼吸器疾患学術講演会. 6 月. 大崎市.
4. 山内広平. COPD の新たな治療戦略. 岩手西北医師会 COPD 学術講演会 in 滝沢中央病院. 7 月. 滝沢市.
5. 長島広相, 中村豊, 守口知, 松本あみ, 鈴木利央登, 秋山真親, 丹田実, 森川直人, 佐々木信人, 武田航太, 田中良一, 山内広平. 気管支サーモプラスチックによる気管支喘息治療経験. 第 50 回東北アレルギー懇話会. 7 月. 青森市.
6. 山内広平. 東北地方におけるアレルギー学の歩み. 第 50 回東北アレルギー懇話会. 7 月. 青森市.
7. 山内広平. 気管支喘息の新しい病態と治療~東日本大震災時の呼吸器診療~. 第 408 回熊本チェストカンファレンス特別講演会. 8 月. 熊本市.
8. 山内広平. 震災前後の岩手県における肺炎球菌ワクチンによる肺炎発症および死亡率に対する影響について. 高齢者の肺炎を考える会. 8 月. 盛岡市.
9. 中村和樹, 佐々島朋美, 伊藤貴司, 堀井洋祐, 佐藤司, 宇部健治, 守義明. 旧姓増悪した抗 ARS 抗体陽性間質性肺炎の 1 例. 第 32 回岩手びまん性肺疾患研究会. 9

月．盛岡市．

10. 山内広平．気管支喘息における吸入療法の進歩～吸入指導も含めて～．会津医学会
学術講演会．9月．会津若松市．
11. 中村豊．気管支ぜんそく治療薬における抗炎症作用と抗リモデリング効果．第43
回青森県アレルギー懇話会学術講演会．9月．八戸市．
12. 齋藤平佐，中村豊，山内広平．類上皮性血管内皮腫の2例．第112回岩手肺疾患研
究会．10月．盛岡市．
13. 山内広平．気管支喘息の病態と吸入治療．花巻市医師会生涯教育講座10月例会医
療講演会．10月．花巻市．
14. 及川侑芳．救命できたCADMの1例．第2回岩手自己免疫疾患セミナー．10月．
盛岡市．
15. 守口知．岩手県におけるニボルマブの使用経験．第2回腫瘍免疫から考える肺がん
治療東北研究会．11月．盛岡市．
16. 佐々木信人．特発性肺線維症の今日の治療．第2回弘前呼吸フォーラム．11月．
弘前市．
17. 中村豊．アレルギー疾患のすべて．平成28年度社会保険指導者講習伝達会．11月．
盛岡市．
18. 長島広相．アレルギー疾患のすべて．平成28年度社会保険指導者講習伝達会．11
月．盛岡市．
19. 山内広平．気管支喘息の病態解明と治療における進歩．高知病診連携フォーラム．
1月．高知市．
20. 島田大嗣，中村豊，松本あみ，及川侑芳，守口知，千葉亮祐，齋藤平佐，長島広相，
山内広平．鳥関連過敏性肺炎の診断に有用な抗原．第33回岩手びまん性肺疾患研
究会．2月．盛岡市．
21. 堀井洋祐，伊藤貴司，菅原まり子，佐藤司，宇部健治，守義明，小野貞英，富地信
和．非典型パターンを示したびまん性肺疾患の一例．第33回岩手びまん性肺疾患
研究会．2月．盛岡市．
22. 山内広平．咳喘息・長引く咳の診断と治療について～吸入指導も含めて～．盛岡喘
息フォーラム．2月．盛岡市．
23. 山内広平．気管支喘息の病態理解と治療法の進歩．第46回岩手アレルギー・呼吸
器懇話会．2月．盛岡市．
24. 山内広平．ACOの診断と治療．COPD治療フォーラム．3月．盛岡市．
25. 守口知．岩手県におけるニボルマブの使用経験．第2回岩手腫瘍免疫研究会．3月．
盛岡市．